

鎌倉時代末期の「悪党」について誤解するおそれのある表現である。

各地で海賊・山賊・強盗など悪党とよばれる人々が出没し、幕府はその取りしまりを求められましたが、うまくはたせず、しだいに幕府の力はおとろえていきました。

また、荘園におし入ったり、年貢をうばったりする武士や商人などの集団(悪党)が各地で出没しましたが、幕府はその取りしまりをうまくはたせず、しだいに幕府の力はおとろえていきました。